

# 令和6年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 三郎丸 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査（国語、算数）

| 教科に関する調査（国語、算数）                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------|
| ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 |
| ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容                |

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 児童質問紙調査

| 児童質問紙調査                        |
|--------------------------------|
| ○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 |

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

| 本年度の結果 | 国語    |       | 算数    |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|
|        | 平均正答数 | 平均正答率 | 平均正答数 | 平均正答率 |
| 本市     | 9.3   | 66    | 9.6   | 60    |
| 全国     | 9.5   | 68    | 10.1  | 63    |

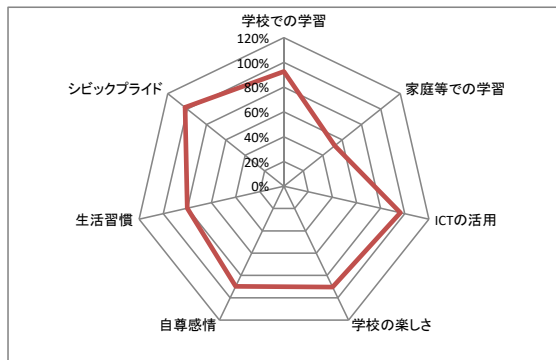
#### (2) 本校の学力調査結果の分析

|    |             |                                                               |                       |
|----|-------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 国語 | 全体的な傾向や特徴など | 「情報の扱い方に関する事項」に関する問題の正答率が高い<br>「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する問題の正答率が低い | 全国平均正答率との比較<br>下回っている |
|    | よくできた問題     | 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題      |                       |
|    | 努力が必要な問題    | 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題                    |                       |

|    |             |                                                      |                       |
|----|-------------|------------------------------------------------------|-----------------------|
| 算数 | 全体的な傾向や特徴など | 「図形」に関する問題の正答率が高い<br>「データの活用」に関する問題の正答率が低い           | 全国平均正答率との比較<br>下回っている |
|    | よくできた問題     | 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる問題                |                       |
|    | 努力が必要な問題    | 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題 |                       |

#### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



| 質問調査の結果分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の項目は、全国平均を上回っている。キャリア教育を充実させ、具体的な職業のイメージや目標をもたせ、シビックプライドに対する意識をさらに伸ばしていきたい。</p> <p>・「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用した」と回答した児童の割合は全国平均と同程度で昨年度を大きく上回った。本校でのICT機器を活用した授業への取り組みが浸透してきている結果だと考えられる。引き続き積極的な活用を続けていきたい。</p> <p>・「平日や休日に家庭で学習すること」の割合が全国平均を下回っており、課題である。家庭学習の取り組み方などさらに検討していく必要がある。</p> |

#### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

##### ① 教科に関する取組

- 板書には必ず、まとめ・振り返りにつながるキーワードを残す。など、「『学びの質を高める授業』づくり5つのポイント」を踏まえた授業の実施。
- 算数道場（給食準備時間に、課題等の終わっていない児童を児童支援加配、教務主任が指導）を実施。
- ひまわり学習塾（週2回水曜日・金曜日14:50～15:30、3年生希望者への学習指導）を実施。

##### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ゲーム等をする時間が多く、自分で計画を立てて学習ができないという結果が出ている。家庭学習の取り組み方を、家庭と連携し改善するため、1日の生活時間の計画を立て、実態を記録するなどの工夫をして生活習慣を整える。また、中学校区生徒会、児童会での話し合いでも、このことを議題として取り上げ、自立に向けた生活習慣の改善を図る。